

2014年度東京都金融・金銭教育協議会の開催について

東京都金融広報委員会では、2014年11月27日に、2014年度東京都金融・金銭教育協議会を開催しました。当日は、都内小・中学校・高等学校などの学校関係者のほか、教育委員会等教育関係者などにご出席いただきました（出席者79名）。

<協議会の模様>

- ・当日は、金融・金銭教育研究校からの実践事例発表とこれを踏まえたディスカッションを実施しました。

1. 研究校等による実践事例発表

① 渋谷区立鉢山中学校（研究活動2年目）

発表者	・主任教諭 船田千雅
発表テーマ	社会の一員として心豊かに生活するために
発表概要	<p><対象学年：2学年></p> <p>・中学2年生で実施する職場体験学習を機会に「働くこと」＝「生活に必要なお金を稼ぐこと」⇒「社会の一員として心豊かに生きること」を考えていく活動について発表を行った。</p>

▽ 渋谷区立鉢山中学校の実践事例発表の様相



② 東京都立蒲田高等学校（研究活動1年目）

発表者	・教諭 浅川 貴広
発表テーマ	学力に課題を抱える生徒に対する金融教育の実践
発表概要	<p><対象学年：3学年></p> <p>・エンカレッジスクールとして生徒の学力に応じた金融・金銭教育での学習の工夫は必要。以下の取り組みについて発表。</p> <p>①「ライフプランニング」をテーマとした授業の実施（講師はSMBCコンシューマファイナンス株式会社より招聘）</p> <p>②「金融の仕組み」をテーマとした授業の実施（講師は東京証券取引所および東京都金融広報委員会アドバイザー）</p>

▽ 東京都立蒲田高等学校の実践事例発表の様相



③東京都立第三商業高等学校（研究活動2年目）

▽東京都立第三商業高等学校の実践事例発表の様様

発表者	・主幹教諭 河原田 一郎
発表 テーマ	自己理解と自分発見を考えたキャリア プランの育成について ～ 商業科目を学びビジネスの仕組みを理解 した生徒たちにふさわしい職業観・勤労観 を熟成させる～
発表概要	<p><対象学年：全学年></p> <p>【1年次】学校設定科目、キャリアガイダンス ー高校生活レッツスタート ー自分発見（あなたの個性・適性） ー職業調べ企業とその仕事を知る ー自己実現のためのライフプラン ー自分PRスキルズ</p> <p>【2年次】インターンシップ、職場体験 ー学校 近隣 約60事業所で職場体験</p> <p>【3年次】進路懇談会</p>



③ 八王子市立第二小学校（研究活動1年目）

▽八王子市立第二小学校の実践事例発表の様様

発表者	・主幹教諭 峯岸 正光
発表 テーマ	自ら考え、豊かに表現できる児童の育成 ～金銭・金融教育の視点を生かして～
発表概要	<p><対象学年：全学年></p> <p>1. 課題について</p> <p>2. 本題を受けての研究の視点、研究方法について</p> <p>3. 教育の視点について ー 金銭教育の視点を生かした教育課程の改善を図る。</p> <p>(1)道徳教育・道徳授業地区公開講座 (2)特別活動・二小まつりでの実践 (3)家庭との連携（総合・出前授業）・教員・PTA合同研修会、保護者会</p> <p>4. 実践の報告（主に低・中学年） ー 社会科・生活科の授業研究を通して研究主題の具現化を図る。</p> <p>1年 生活科「あきをたのしもう」 2年 生活科「わくわく町探検」 3年 社会科「野菜を作る農業の仕事」等</p> <p>ー 言語活動を活性化し、一人一人の思考力・判断力・表現力の伸長を図る。</p>



2. 研究協議（パネルディスカッション）

- ・ 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課 指導主事 藤田修史氏より、4校の実践発表についてご講評いただきました。
- ・ 次に、「学校における金融教育の進め方」をテーマとして、主に①教育現場の実情、②金融教育の効果的な進め方、③教材の工夫、などについて、各校より具体的な取り組みも織り交ぜながら、協議しました。

（パネリスト）

研究校校長および担当教諭等

- ・ 渋谷区立鉢山中学校 校長 千葉 広美
- ・ 東京都立第三商業高等学校 校長 浦部 利明
- ・ 八王子市立第二小学校 校長 小林 巧
- ・ 東京都立蒲田高等学校 教諭 浅川 貴広
- ・ 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課 指導主事 藤田 修史

（コーディネーター）

- ・ 東京都金融広報委員会事務局長 宮阪 隆彦



<参考：協議会の模様>

1. 目的

- ・ 都内の教育委員会、小・中学校・高等学校の教育関係者が一堂に会し、金融・金銭教育の実践例等を題材とした研究協議や意見交換を行うこと。
- ・ これらを通じて、金融・金銭教育の基本的な考え方や実践方法について理解を深めるとともに、教育現場における金融・金銭教育の取り入れ方・進め方をめぐる課題や対応策などについて情報共有を図ること。

2. 主催 東京都金融広報委員会

3. 後援 東京都教育委員会、金融広報中央委員会

4. 日時 2014年11月27日（木）13：30～16：45

5. 会場 ホテルフロラシオン青山

6. 出席者 79名（都内区市町村教育委員会指導主事、小・中学校・高等学校校長または副校長、担当教員、金融広報委員会関係者、金融広報アドバイザー等）

以 上